

誤嚥性肺炎の阻止に向けた 地域全体の取り組み ～口腔ケアサポートチームの5ヶ年計画～

熊本総合病院 口腔ケアサポートチーム
リーダー 言語聴覚士 橋本 幸成

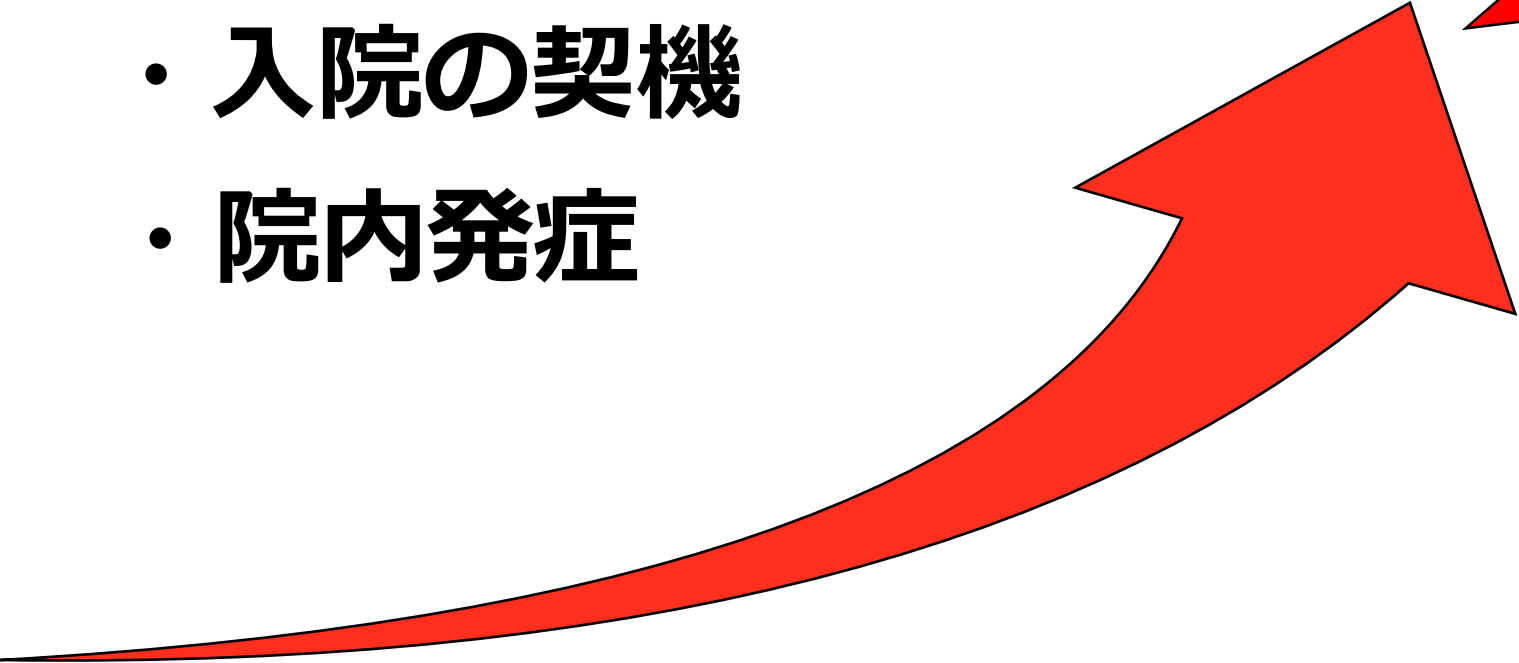


誤嚥性肺炎の増加

- ・ 年々増加
- ・ 死因7位（3万8千人）
- ・ 入院の契機
- ・ 院内発症



誤嚥性肺炎



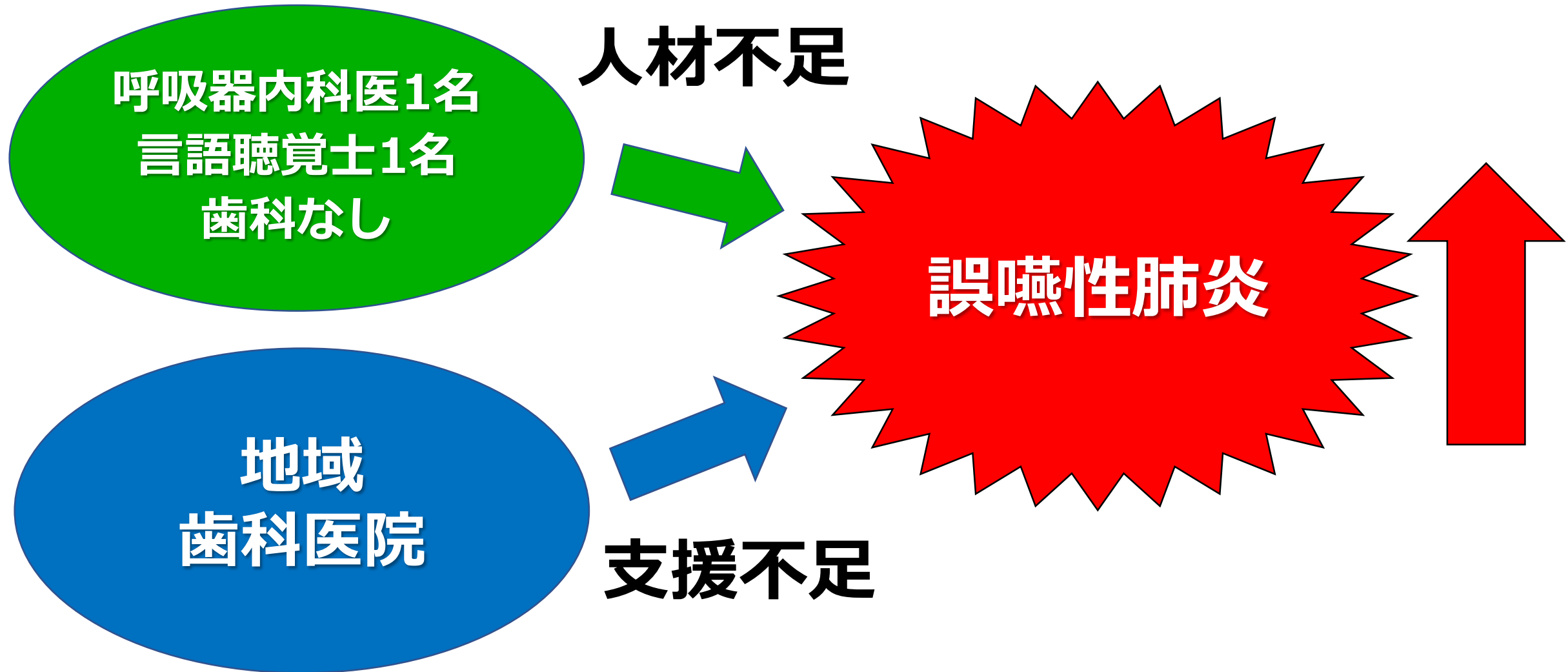
業務上のストレス
にもなっている

誤嚥性肺炎への対策

- ・ 高齢化現象
- ・ 脳卒中
- ・ 術後合併症
- ・ 要介護者



当院の体制不足と地域からの支援不足



課題設定

地域全体での誤嚥性肺炎対策が必須！



2014年度に**地域連携**を目標とした
『**口腔ケアサポートチーム**』を結成

チームメンバー

リーダー：橋本幸成（言語聴覚士）

チーム員：小川智美（看護副師長）、永利聡仁（脳神経内科部長）

古田洋一（薬剤師）、亀之園佑太（言語聴覚士）、清水梨沙（管理栄養士）

村上佳苗（看護師）、山口薫（作業療法士）、藤崎龍（作業療法士）

秀島健介（作業療法士）、久保田裕（作業療法士）、岩尾真実（看護師）

高野広恵（看護師）、大岡健太郎（薬剤師）、濱田則雄（理学療法士長）

古賀一成（副院長兼脳神経外科部長）

摂食嚥下委員会のメンバーを中心に構成された16名
多職種の**役職者**による支援体制

チームメンバー

コメディカルスタッフである言語聴覚士を
多職種の役職者がサポートする体制

秀島健介（作業療法士），久保田裕（作業療法士），岩尾真実（看護師）
高野広恵（看護師），大岡健太郎（薬剤師），濱田則雄（理学療法士長）

多職種連携で層が厚く，**柔軟性**のあるチーム作り

3段階の取り組み

第1フェーズ 誤嚥性肺炎による入院者を阻止

方法：啓発活動および嚥下食の見直し

第2フェーズ 院内発症の誤嚥性肺炎を阻止

方法：院内における口腔ケアの普及活動

第3フェーズ 脳卒中病棟の誤嚥性肺炎を阻止

方法：地域歯科医院からの「口腔ケア往診」

2014年 ————— **5 年計画** —————▶ 2018年

第1フェーズ

誤嚥性肺炎による入院者を阻止する！

第1フェーズ：2014～2017年度

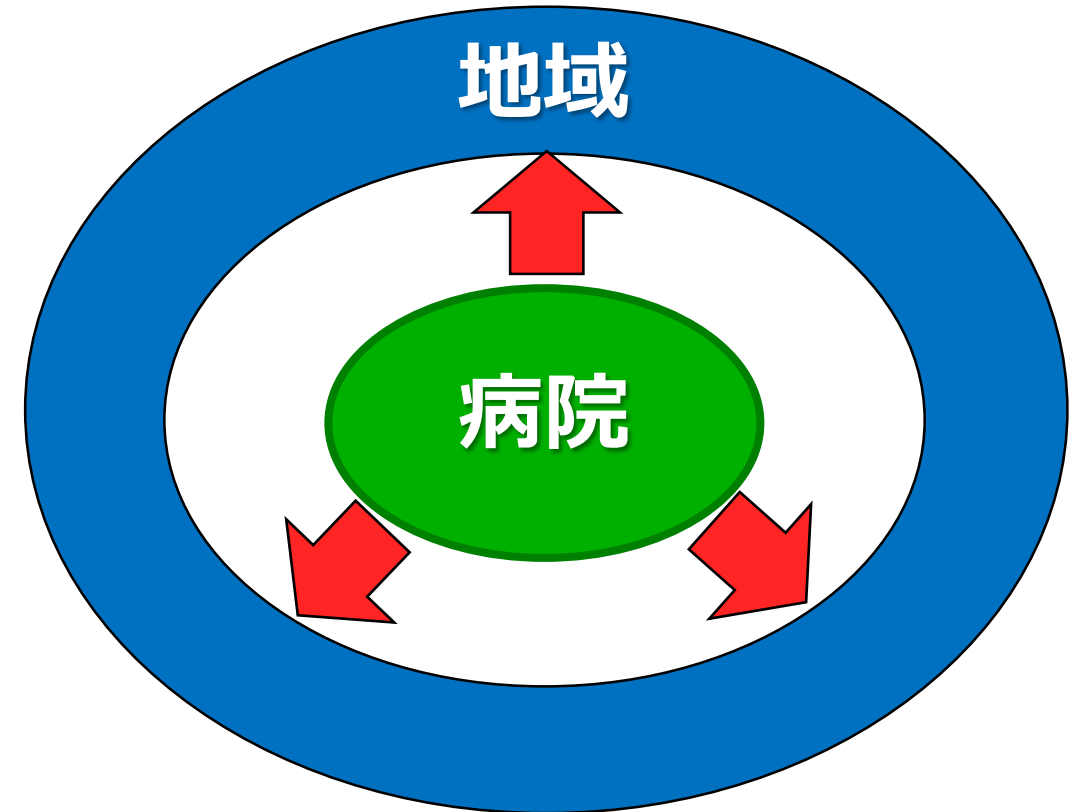
誤嚥性肺炎による入院患者↑

病院から地域へ！

対策1：地域に向けた研修会

対策2：嚥下食の見直し

目標：誤嚥性肺炎による入院者30%減



対策1：研修会による啓発活動

地域向け研修会の参加者数

年度	日付	研修会内容	参加者数		
			院内	院外	全体
2014年度	9月25日	1. 摂食嚥下障害について 2. 食事形態の基礎知識	19	109	128
	10月29日	1. とろみ剤の適切な使用法 2. 簡易懸濁法の基礎	28	103	131
	11月27日	1. 口腔環境と口腔ケア 2. 歯科と摂食嚥下障害	14	54	68
	3月19日	1. 嚥下調整食と栄養価 2. 摂食嚥下障害の評価と訓練	30	56	86
2015年度	3月17日	適切な口腔ケアの方法	25	56	81
2016年度	6月29日	簡易懸濁法の実践	17	44	61
2017年度	1月31日	口腔ケアと誤嚥性肺炎の予防	25	59	84

多数の院外参加者

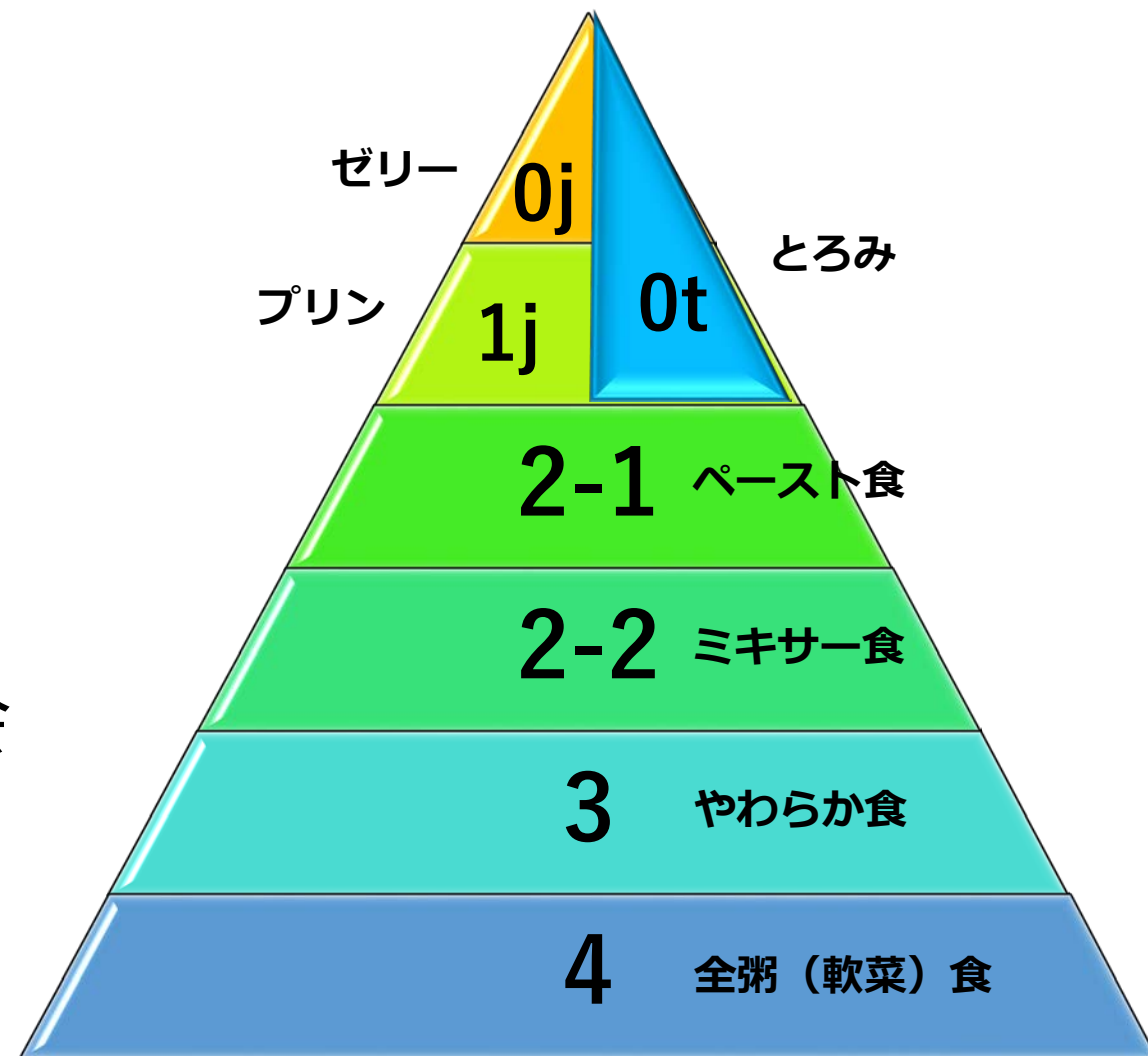
対策2：嚥下食の見直し

嚥下食の見直し

独自の分類方法

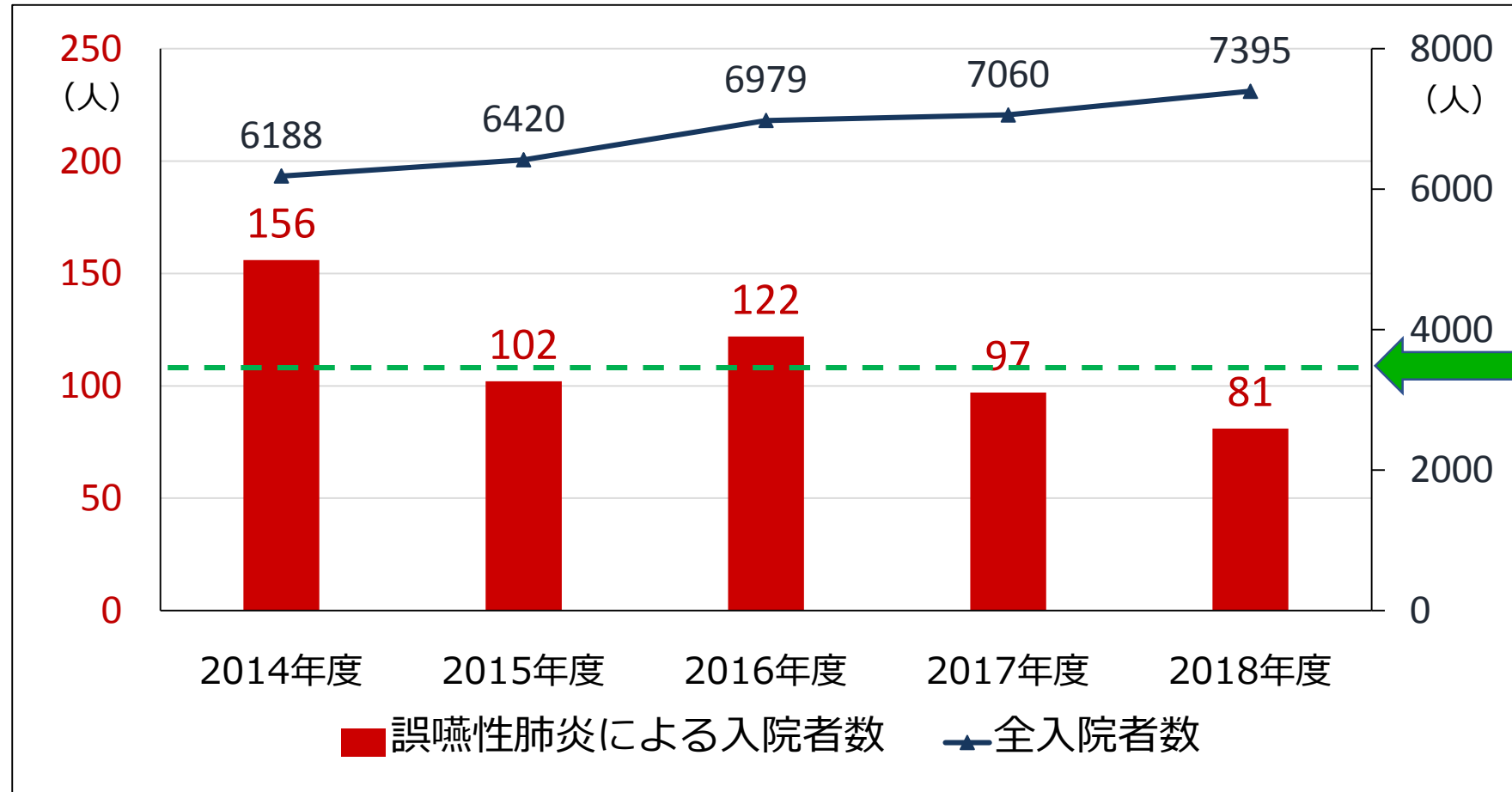


摂食嚥下リハビリテーション学会
の規定に基づいた分類方法



嚥下調整食学会分類2013 (嚥下食ピラミッド)

第1フェーズの成果



← 30%
目標値クリア！

全入院者数：増加 ↔ 誤嚥性肺炎の入院者数：減少

第2フェーズ

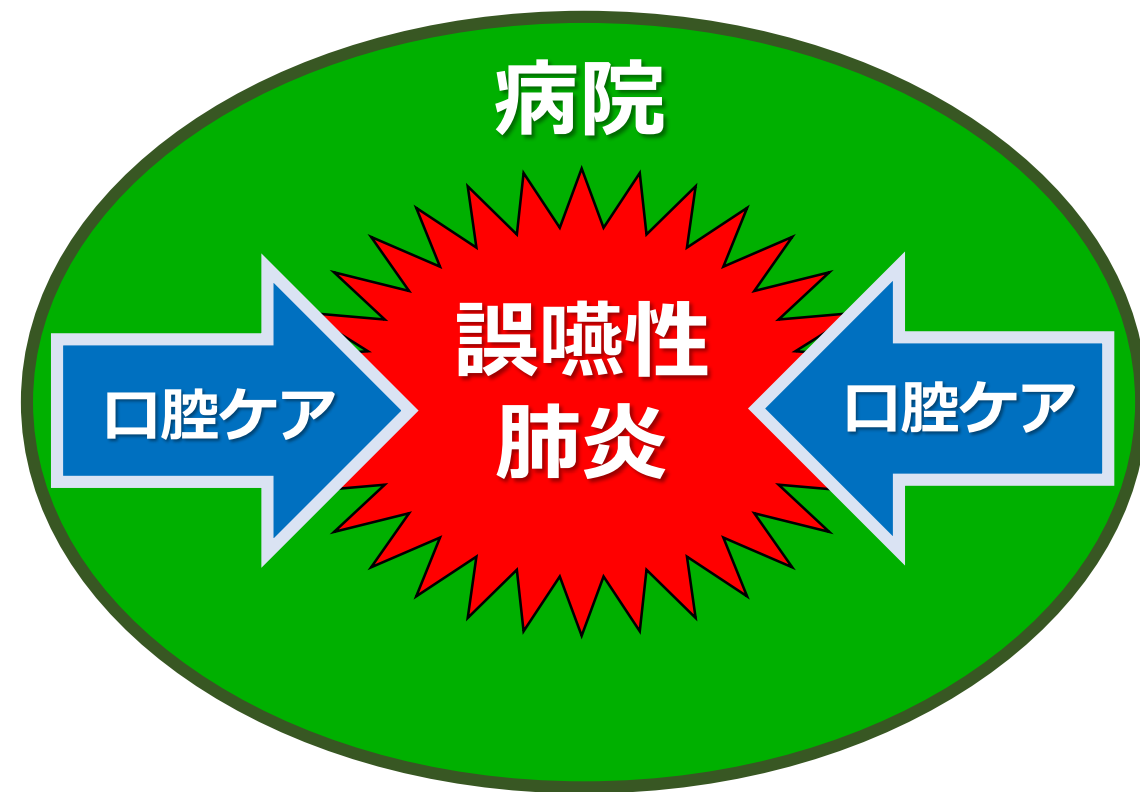
院内発症の誤嚥性肺炎を阻止する！

第2フェーズ：2016～2018年度

院内の誤嚥性肺炎↑

院内の強化！

対策：口腔ケアの促進

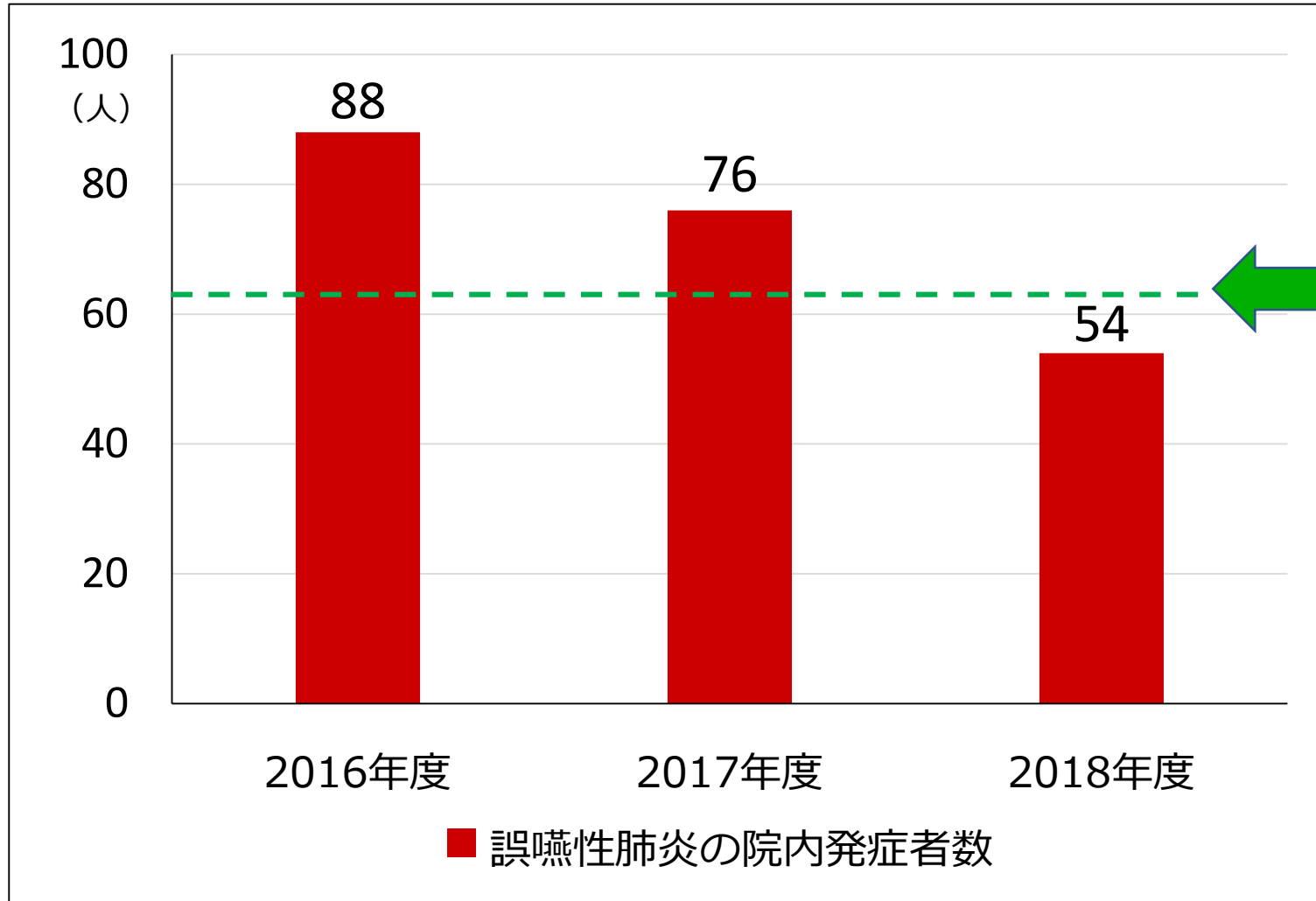


目標：院内発症の誤嚥性肺炎30%減

対策：多角的な口腔ケア

1. 各病棟の**摂食嚥下委員看護師**による口腔ケアの促進
2. 抗菌作用のある**口腔ケア用ジェル剤**の導入
3. **絶食患者**への口腔ケア実施の徹底
4. **地域歯科衛生士**による病棟単位での**口腔ケア勉強会**

第2フェーズの成果



← -30%
目標値クリア！

第3フェーズ

脳卒中病棟の誤嚥性肺炎を阻止する！

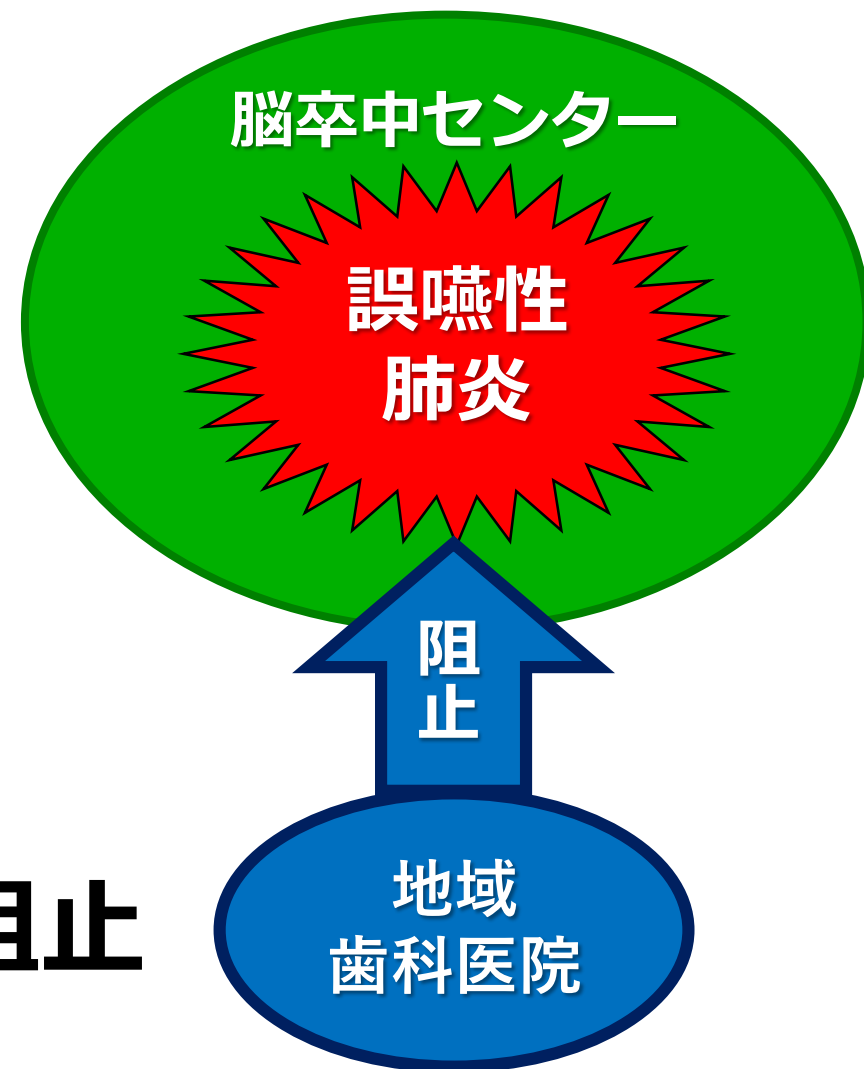
第3フェーズ：2018年度～現在

脳卒中病棟の誤嚥性肺炎発症↑

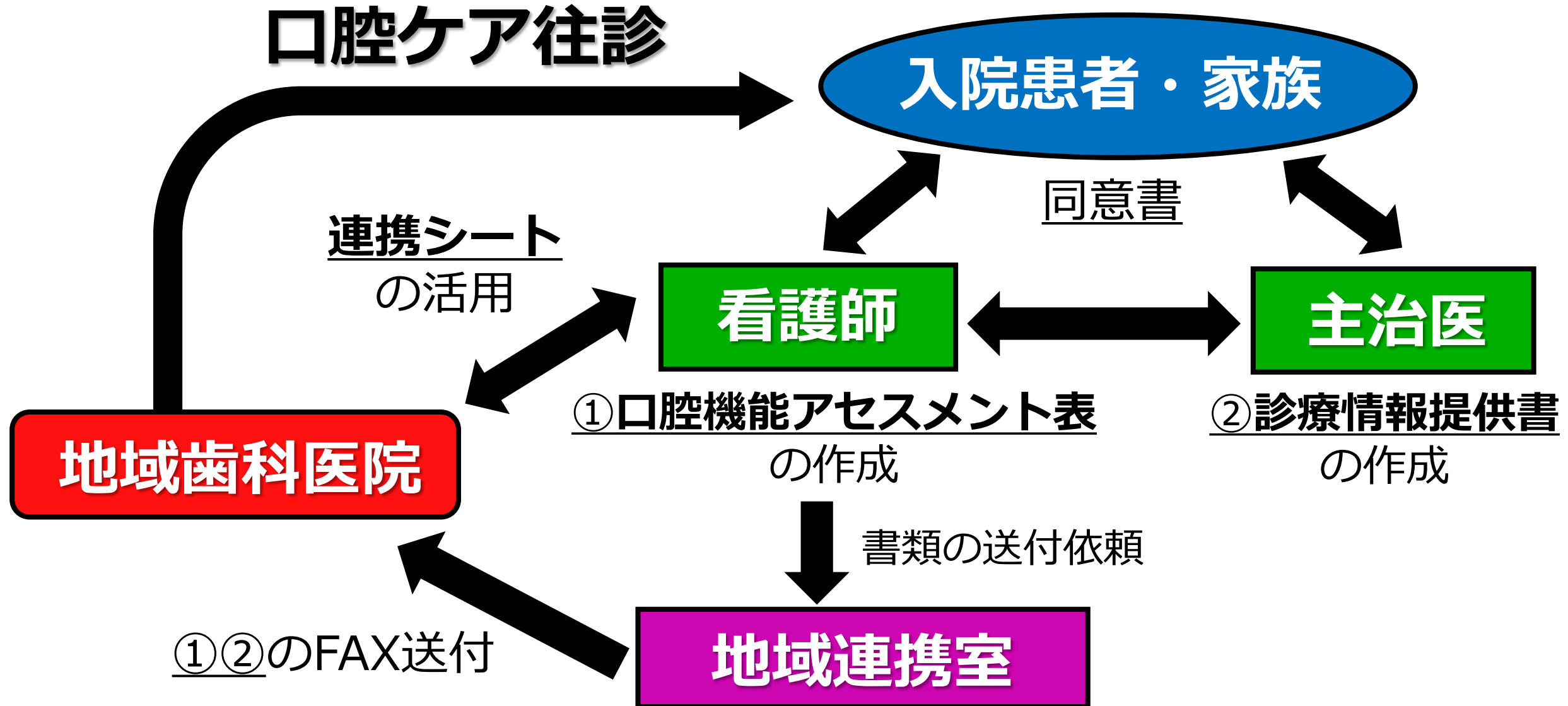
地域から病院へ！

対策：地域からの口腔ケア往診

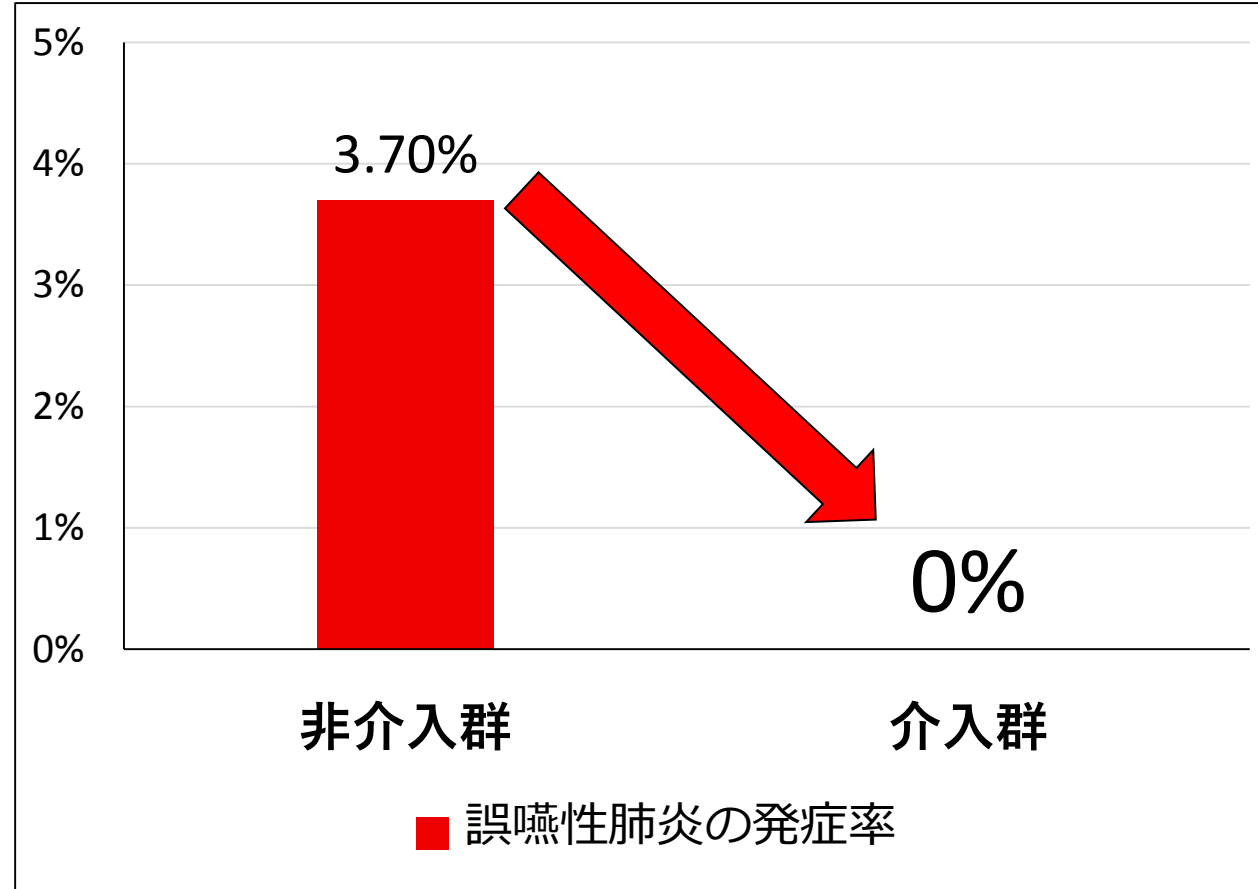
目標：口腔ケア往診による誤嚥性肺炎阻止



対策：口腔ケア往診

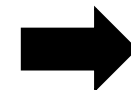


第3フェーズの成果



非介入群：3.70% (28/622人)
介入群：0% (0/21人)

口腔ケア往診を実施した患者



誤嚥性肺炎発症ゼロ

まとめ

1. 口腔ケアサポートチームの立ち上げ（2014年度）

2. 第一フェーズ：2014～2017年度

地域への啓発活動／嚥下食の見直し ➡ 誤嚥性肺炎による入院者数を**30%減少**

3. 第二フェーズ：2016～2018年度

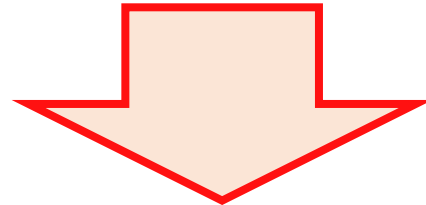
院内における口腔ケアの普及 ➡ 誤嚥性肺炎の院内発症を**30%減少**

4. 第三フェーズ：2018年度～現在

地域歯科医院からの「口腔ケア往診」 ➡ 介入した21名の**誤嚥性肺炎ゼロ**

結論

長期的かつ計画的な取り組みと
当院と地域施設の協力体制によって



**誤嚥性肺炎の阻止に向けた
目標達成ができた！**

今後も本活動を改善・前進させます！

**熊本総合病院
口腔ケアサポートチーム**

